

Futaba Report

第103期 中間株主通信 2016年4月1日 → 2016年9月30日





代表取締役社長

吉貴 寛良

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃よりフタバ産業株式会社ならびにフタバグループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。第103期中間（第2四半期連結累計期間：2016年4月1日から2016年9月30日まで）の株主通信をここにお届けいたします。

Profile

代表取締役社長 吉貴 寛良

- 1980年3月 京都大学法学部 卒業
- 1980年4月 トヨタ自動車工業株式会社 入社
- 2012年1月 トヨタ自動車株式会社 常務役員 技術管理本部本部長
- 2015年4月 フタバ産業株式会社 常勤顧問
- 2015年6月 当社 代表取締役 副社長執行役員
- 2016年6月 当社 代表取締役社長

Q1. 当第2四半期を振り返って総括をお願いします。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気の回復基調が続いておりましたが、足元の成長の鈍化などから、今後は景気の減速が懸念されます。欧州においても景気は緩やかに回復しておりますが、イギリスのEU離脱に伴う先行きの不透明感の高まりによる影響に留意する必要があります。アジア地域においては、中国では景気の減速傾向が続いておりますが、インドネシア等においては内需を中心に持ち直しの動きが見られます。

国内経済は、弱さも見られるなか、個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調にある等、不安定な低成長が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、北米では販売の伸びに鈍化が見られ、欧州においては先行きが不透明、中国では暫定的減税措置の期限を前にした一時的な駆け込み需要があるものの、全体としては減速傾向にあります。国内市場においては、普通自動車の販売数は横ばいであるものの、軽自動車については増税の影響から回復しておらず、全体としても不透明な状況であります。

こうした状況のなか、当社グループにおいては新5か年計画を策定し、「安全、品質、ものづくり」の基本を徹底し、構造改革と原価マネジメントの強化により収益確保に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,014億円（前年同四半期比6.8%減）となり、営業利益は26億円（前年同四半期は8億円の営業損失）、経常利益は13億円（前年同四半期は28億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億円（前年同四半期は33億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

Q2. 配当の方針についてご説明をお願いします。

当社は、株主の皆様の利益を経営の重要課題のひとつとしております。利益配分につきましては、安定的な配当の維持を基本に、経営成績・配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待に沿うよう努力してまいります。内部留保につきましては、将来にわたる株主の皆様利益を確保するため、経営基盤のより一層の強化・充実を図るべく設備投資などに充当し、今後の事業展開に役立ててまいります。





今期の株主配当金につきましては、取り巻く事業環境は引き続き厳しく、かつ不透明でありますので、当中間業績を鑑みて中間配当は無配、期末配当については1株当たり3円を予定しております。

Q3. 第三者割当による新株式の発行について ご説明をお願いします。

5月23日に開示しました「第三者割当による新株式の発行及びその他の関連会社の異動に関するお知らせ」に記載の通り、5月23日開催の取締役会において、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ自動車）に対して第三者割当による新株式の発行を行うことについて決議いたしました。

当社は、自動車メーカーが要求する技術革新への柔軟な対応と、自動車メーカーによる海外生産シフトに対応した海外進出を進めることで、取引基盤拡充を図ってまいりました。相対的にトヨタ自動車向けの販売割合が高く、トヨタ自動車の事業展開に即して自動車部品を安定供給する体制を構築・維持することが、当社の中長期的な企業価値向上のために必要であると考えております。

その様な状況下で、燃費向上のための車体軽量化と乗員保護のための車両衝突安全性の両立を図るため、従来の冷間プレスでの成形が困難な高強度材のプレス加工手法として、ホットスタンプ加工ラインの新規導入をトヨタ自動車と協議してまいりました。当社としては技術的な差別化が図れることに加えて、トヨタ自動車との取引基盤拡充が期待されることから、ホットスタンプ加工ラインを導入することが、当社の企業価値向上に資するものと判断するに至りました。

ホットスタンプ加工ラインの導入に際し、工場の新増設を含め、今後予定される平成31年3月までにおける投資総額は約105億円となり、そのうち約99億円を本第三者割当増資により調達する予定です。

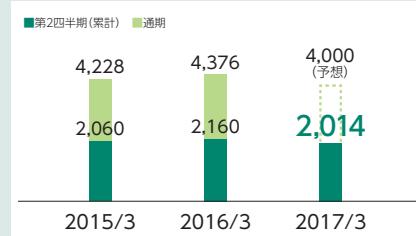
Q4. 株主の皆様へメッセージをお願いします。

私の最大の責務は、当社を継続的に利益の出せる会社にする事だと捉えております。これまではものづくり改革を中心に進めてまいりましたが、経営判断のスピード化、ガバナンスの強化、仕事の進め方そのものの見直しを通じ、更なる収益力の強化と経営効率の向上を目指してまいります。

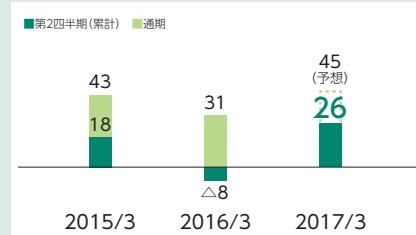
また、皆様のご期待に応えられるよう、社員一人ひとりが当事者意識を持ち、自ら問題解決を行えるよう人材育成を実践し、社会に貢献できる会社を目指してまいります。皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

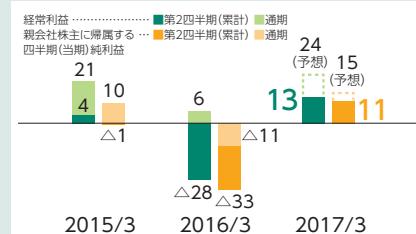
売上高 (億円)



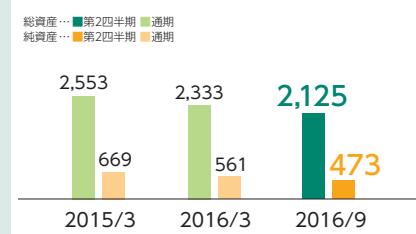
営業利益 (億円)



経常利益 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



総資産・純資産 (億円)



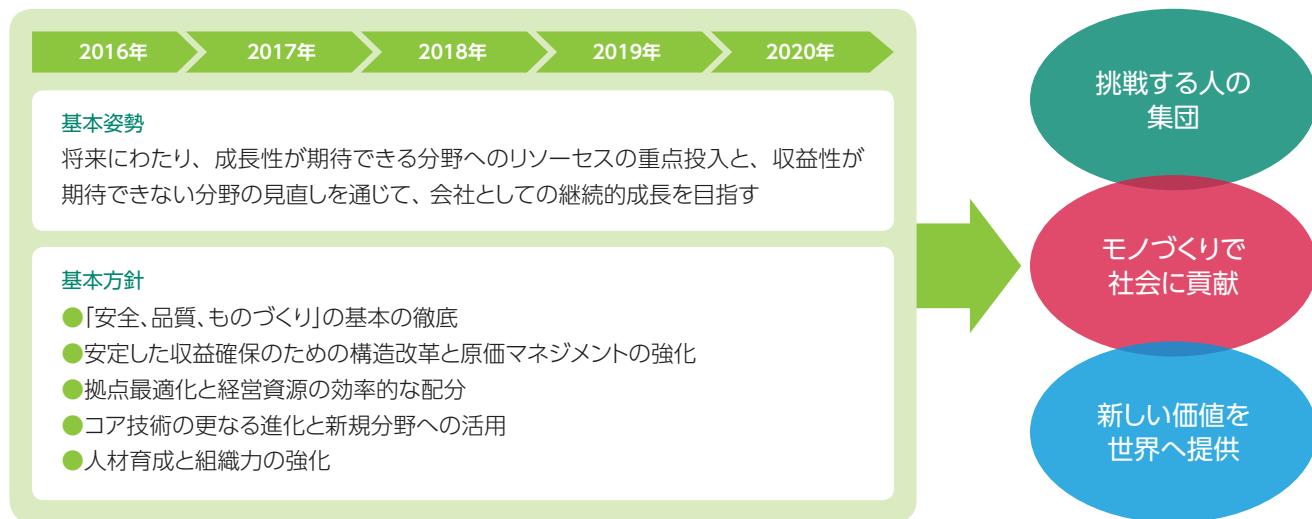


白 自動車業界においては、グローバルでの環境規制強化とユーザーによる燃費意識の高まりから、環境性能向上に資する付加価値提供の機会が今後一層拡大していくものと想定されます。

当社においては、ホットスタンプ加工ラインの導入拡大や超ハイテンプレス加工技術の確立を通じたボデー系プレス部品での軽量化及び高強度化の推進、グローバルでの排気系システム部品の供給拡大など、付加価値の高い環境対応製品のグローバル供給体制強化を新たな成長の柱とし、以下の5つの基本方針を取組むことにより、2020年度における連結売上高4,400億円、同連結営業利益率3.5%達成に向け、新5カ年計画を推進してまいります。

基本方針

「よい品、より安く」を基本とした新たな成長ステージ



売上高・営業利益率見通し

	2016年度	2018年度	2020年度
連結売上高	4,070億円	4,200億円	4,400億円
連結営業利益率	1.0%	1.8%	3.5%

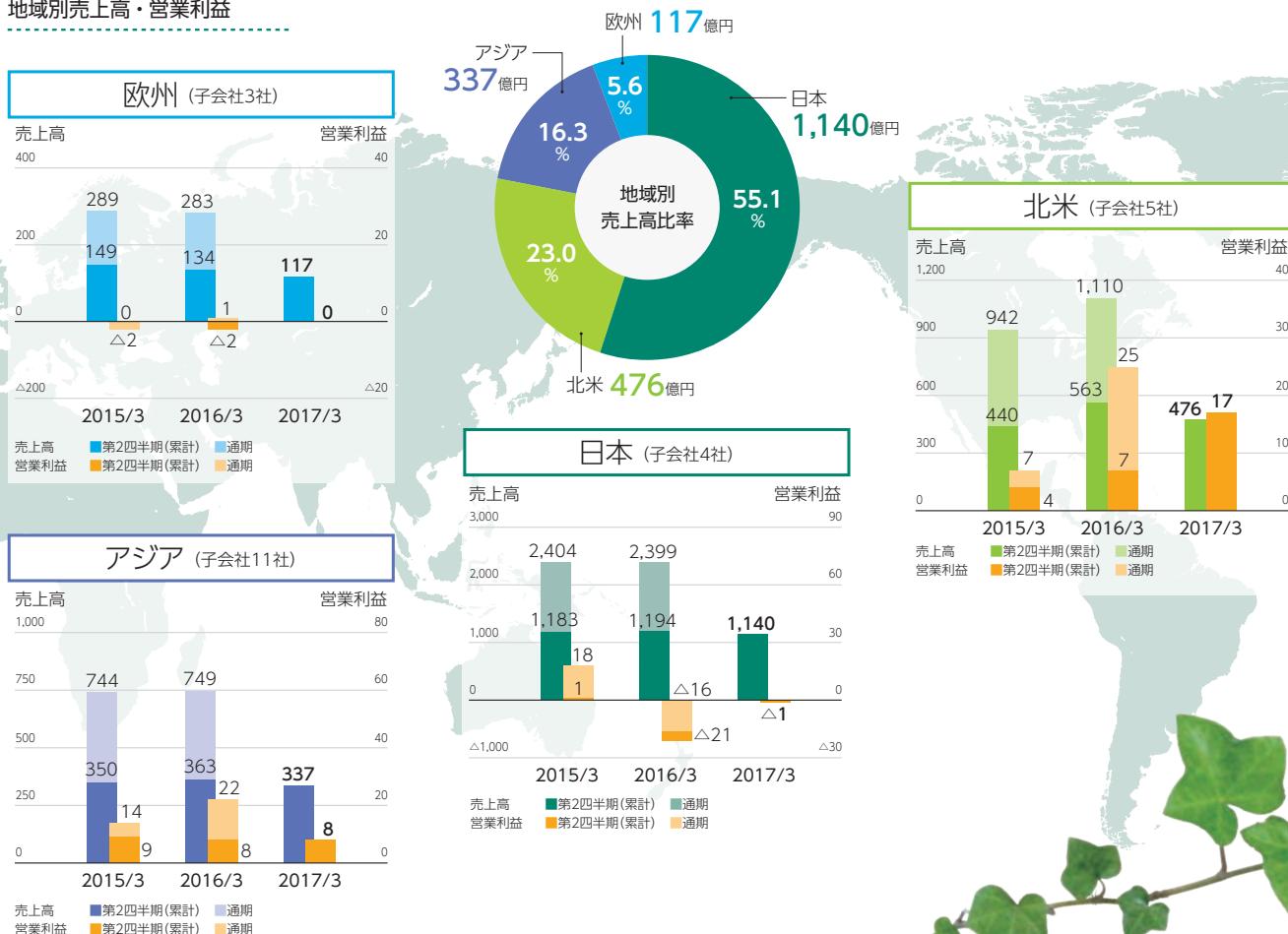
※2016年度の連結売上高は4,000億円に修正させて頂きました。詳細につきましてはP6をご確認下さい。



地域別業績の状況 Situation of Regional Performance

当社グループの地域別業績は日本においては売上高が1,140億円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント損失は1億円（前年同四半期は21億円のセグメント損失）となりました。その他の地域における売上高は、北米が476億円（前年同四半期比15.3%減）、欧州が117億円（前年同四半期比12.8%減）、アジアが337億円（前年同四半期比7.2%減）となり、セグメント利益は、北米が17億円の利益（前年同四半期比143.5%増）、欧州が0億円の利益（前年同四半期は2億円のセグメント損失）、アジアが8億円の利益（前年同四半期比0.3%増）となりました。

地域別売上高・営業利益



1 工場紹介

幸田工場に新工場を建設中



2016年8月より当社幸田工場（額田郡幸田町）にホットスタンプ加工ライン用新工場の建設工事が開始されました。新工場は2017年春頃に完成予定で、2018年より生産を開始する計画で進めています。

新工場には、ホットスタンプ加工ラインが順次3ライン設けられトヨタ自動車向けのボデー系部品を生産予定です。

ホットスタンプ加工とは…

高温に加熱した鋼板をプレス成型した後、金型内に保持することで急速冷却し、鋼板を高強度化する技術です。

従来の冷間プレスよりも強度を高めながら加工することができるため、より薄くて丈夫な製品をつくることが可能になります。



2 業績 通期業績予想の修正

最近の業績動向を踏まえ、平成29年3月期の通期の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしました。

平成29年3月期 通期 連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	407,000 ^{百万円}	4,000 ^{百万円}	2,000 ^{百万円}	500 ^{百万円}	7 ^円 15 ^銭
今回修正予想	400,000 ^{百万円}	4,500 ^{百万円}	2,400 ^{百万円}	1,500 ^{百万円}	21 ^円 44 ^銭

※詳細につきましては当社ホームページにて10月27日に開示しました「平成29年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3 新規拠点 インド グジャラート州に新会社設立

当社は、更に拡大が予想されるインドの自動車部品需要に対し、現地のお客様のニーズに応えるため、グジャラート州に自動車部品製造会社を設立することを決定いたしました。

会社概要

名称 : Futaba Industrial Gujarat Private Limited 【FIG】(仮)
所在地 : インド グジャラート州
資本金 : 10億円INR (15.5億円相当)
設立時期 : 2017年1月 (予定)
資本構成 : フタバ産業株式会社、他1社



※FMIは既存拠点です。

4 新規事業 CO₂貯留・施用装置モニター販売開始

当社は、施設園芸用に開発したCO₂貯留・施用装置を、7月よりモニター様に販売を開始いたしました。

当システムは、ハウス栽培に必要な加温機から発生する排ガス中のCO₂を夜間のうちに回収・貯留し、昼間の光合成のためにハウス内に施用することができる、ハウス内のCO₂濃度をコントロールするシステムです。

モニター様の意見を反映し、2017年の秋頃に一般販売を開始する予定で進めております。



▲施設園芸用CO₂貯留・施用装置



情報環境機器部品／その他

10.4%

- カラー複合機向け
トレイモジュール
- 各種精密部品
- 家庭用燃料電池向け改質器 など



排気系部品

34.9%

- 排気系システム
- エキゾーストマニホールド
- ディーゼル排ガス後処理装置
- POWEREV®
(パワレヴ・排気熱回収器)
- ディーゼルパティキュレート
フィルター (DPF*) など

*DPF: Diesel Particulate Filter



足回り部品

7.1%

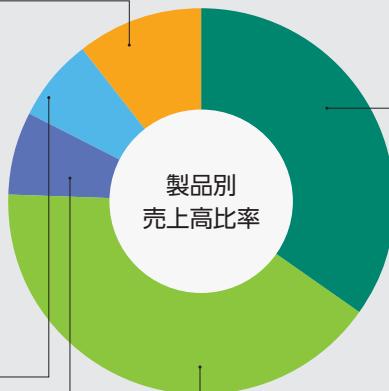
- フロントサスペンション
サブフレーム
- リヤアクスルビーム など



燃料系部品

6.9%

- フューエルインレット
- フューエルタンク
- キャニスター など

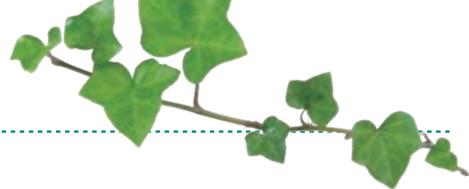


ボデー／内外装部品

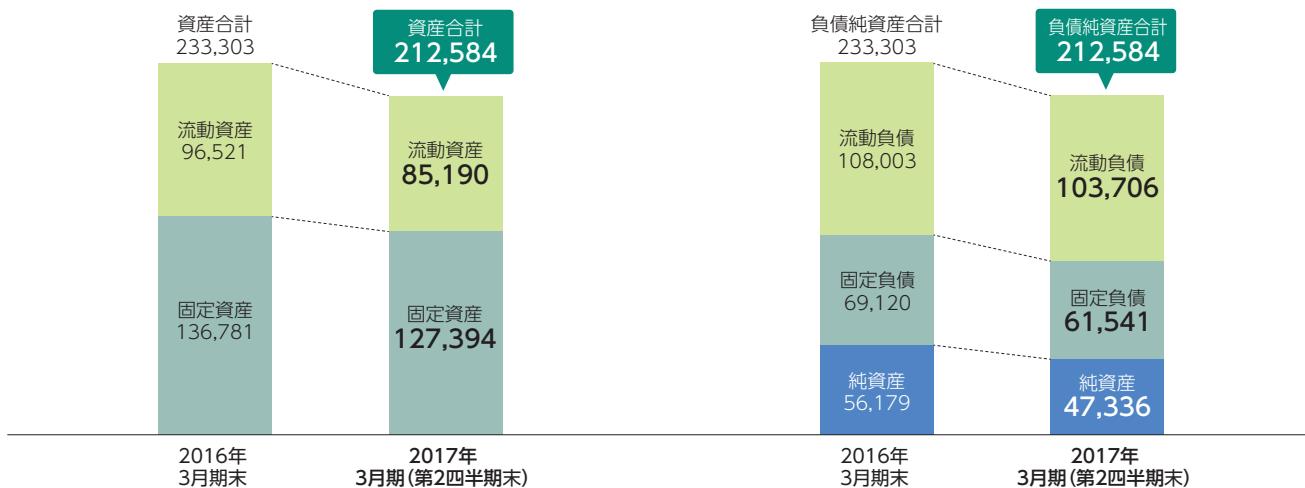
40.7%

- フロントボデーピラー
- センターボデーピラー
- インパネリインホース
- カウル など





四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



四半期連結損益計算書 (百万円)

科目	当第2四半期 (2016年9月期)	前第2四半期 (2015年9月期)
売上高	201,482	216,097
売上原価	189,699	207,477
売上総利益	11,783	8,620
販売費及び一般管理費	9,139	9,490
営業利益又は営業損失(△)	2,643	△870
営業外収益	717	637
営業外費用	2,008	2,654
経常利益又は経常損失(△)	1,352	△2,887
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,352	△2,887
法人税等	△34	460
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,386	△3,347
非支配株主に帰属する四半期純利益	224	51
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,162	△3,399

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

科目	当第2四半期 (2016年9月期)	前第2四半期 (2015年9月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,613	9,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,470	△11,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,668	△1,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,871	195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,396	△3,281
現金及び現金同等物の期首残高	13,121	14,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,724	11,294



会社概要

設立	1935年3月25日
創立	1945年11月1日
資本金	118億2,017万円
従業員数	10,020名(連結)
事業内容	自動車等車両部品、情報環境機器部品、 治具溶接機等の製造及び販売

取締役及び監査役

代表取締役社長	吉貴 寛良
取締役専務執行役員	岩月 幹雄
取締役専務執行役員	吉田 隆行
取締役常務執行役員	高橋 友寛
取締役常務執行役員	浅川 慶太
取締役常務執行役員	大橋 二三夫
社外取締役	木下 潔
社外取締役	堀江 正樹
常勤監査役	杉木 梅信
社外監査役	磯部 利行
社外監査役	吉村 善裕
社外監査役	鈴木 人史

執行役員

副社長執行役員	土屋 信悟
常務執行役員	三宮 嗣巳
常務執行役員	山田 義人
上席執行役員	白井 康能
上席執行役員	稲垣 卓久
上席執行役員	黒野 徳義
上席執行役員	篠田 典昌
上席執行役員	藤井 孝司
上席執行役員	小木曾 伸一
上席執行役員	中井 浩之
上席執行役員	加藤 詳一郎
上席執行役員	川淵 建夫

事業所

本社・岡崎工場	愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地
緑工場	愛知県豊田市緑ヶ丘6丁目1番地
知立工場	愛知県知立市逢妻町道瀬山110番地
幸田工場	愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1番1
六ツ美工場	愛知県岡崎市在家町字向前田38番地
高橋工場	愛知県岡崎市高橋町字一三24番地
田原工場	愛知県田原市緑が浜1号5番

連結子会社の状況

会社名	所在地	資本金	議決権比率
(株)フタバ九州	福岡県	460百万円	100.0%
(株)フタバ平泉	岩手県	495百万円	100.0%
(株)アビックス	愛知県	100百万円	97.5%
(株)フタバ総合サービス	愛知県	10百万円	100.0%
フタバノースアメリカE&M(株)	米国	1百万米ドル	100.0%
FICアメリカ(株)	米国	14百万米ドル	100.0%
フタバインディアナアメリカ(株)	米国	10百万米ドル	100.0%
フタバインダストリアルテキサス(株)	米国	10百万米ドル	100.0%
FIOオートモーティブカナダ(株)	カナダ	50百万カナダドル	100.0%
フタバ・テネコUK(株)	英国	18百万英ポンド	51.0%
フタバインダストリアルUK(株)	英国	25百万英ポンド	100.0%
フタバチェコ(有)	チェコ	1,340百万チェココルナ	85.0%
双叶(常州)管理(有)	中国	2百万米ドル	100.0%
雙葉科技(株)	香港	56百万香港ドル	95.0%
双叶金属制品(深圳)(有)	中国	150百万香港ドル	100.0%
天津双叶協展機械工業(有)	中国	6百万米ドル	50.0%
天津双叶協展機械(有)	中国	11百万米ドル	51.0%
広州双叶汽車部件(有)	中国	29百万米ドル	51.0%
東莞双叶金属制品(有)	中国	23百万米ドル	100.0%
長沙双叶汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
重慶福達巴汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
FMIオートモーティブコンポーネンツ(株)	インド	900百万インドルピー	51.0%
(株)フタバインダストリアルインドネシア	インドネシア	58百万米ドル	82.0%

関連会社

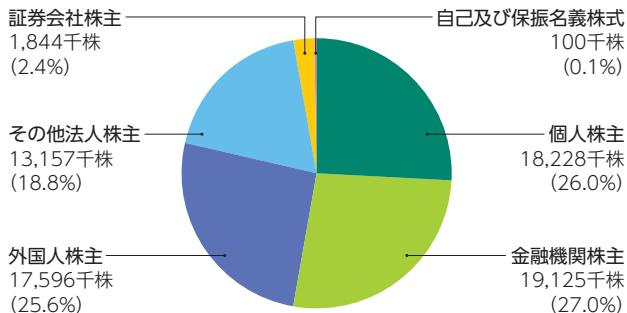
三恵工業株式会社(岡山県)
協祥機械工業股份有限公司(台湾)
PT. Komponen Futaba Nusapersada(インドネシア)
PT. Greenland Metal Stamping Indonesia(インドネシア)
YMP Press&Dies (Thailand) Co., Ltd.(タイ)



株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	70,049,627株 (自己株式数99,869株を含む)
株主数	7,343名

所有者別持株比率



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	8,585	12.25
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	6,516	9.30
株式会社三井住友銀行	3,063	4.37
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,919	4.16
フタバ協力会持株会	2,289	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,434	2.04
ビービーエイチ ポストン カストディアン フォー ブラックロック グローバル アロケーション ファンド インク 620313	1,430	2.04
立花証券株式会社	1,406	2.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,290	1.84
フタバ従業員持株会	1,198	1.71

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株主メモ Shareholder Information

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞及び中部経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京及び名古屋証券取引所 市場第一部

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等（特別口座の場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社）にお問い合わせください。



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。